

令和2年度

ネットトラブル等防止のための高森東小PTAアンケート

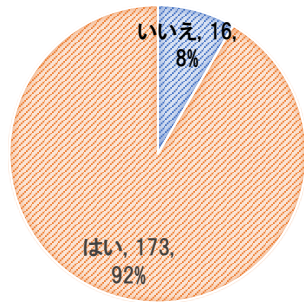
～回答結果～

アンケートの回答へご協力いただき、ありがとうございました。
結果とまとめのご報告をいたします。

【調査概要】

この調査は、2021年1月8日～27日にかけて、1世帯につき1つの回答を依頼し行われました。インターネットからの回答と用紙に記入し回答いただいたものを足し合わせて集計しています。結果、242世帯のうち、189世帯から回答をいただきました（回収率78%）。

Q1. 家庭での子どものインターネット利用状況

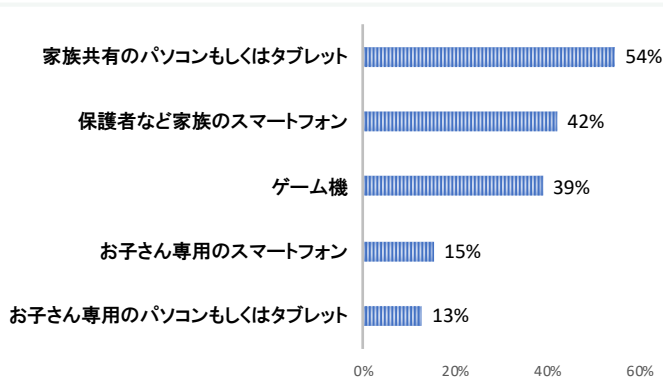


90%以上の家庭でお子さんがインターネットを利用しているという状況です。

利用していないお子さんは各学年に数名ずつという結果でした。

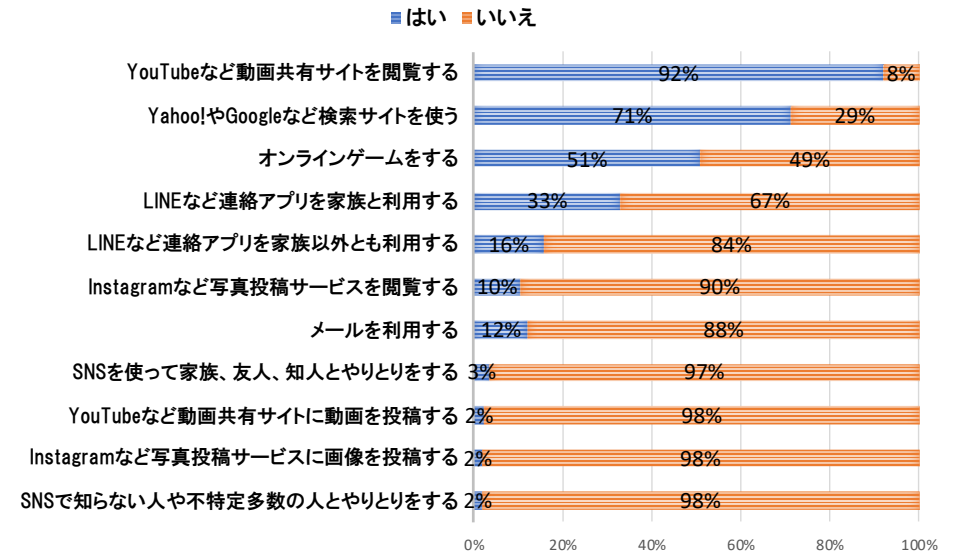


Q2. 家庭でのインターネット利用端末



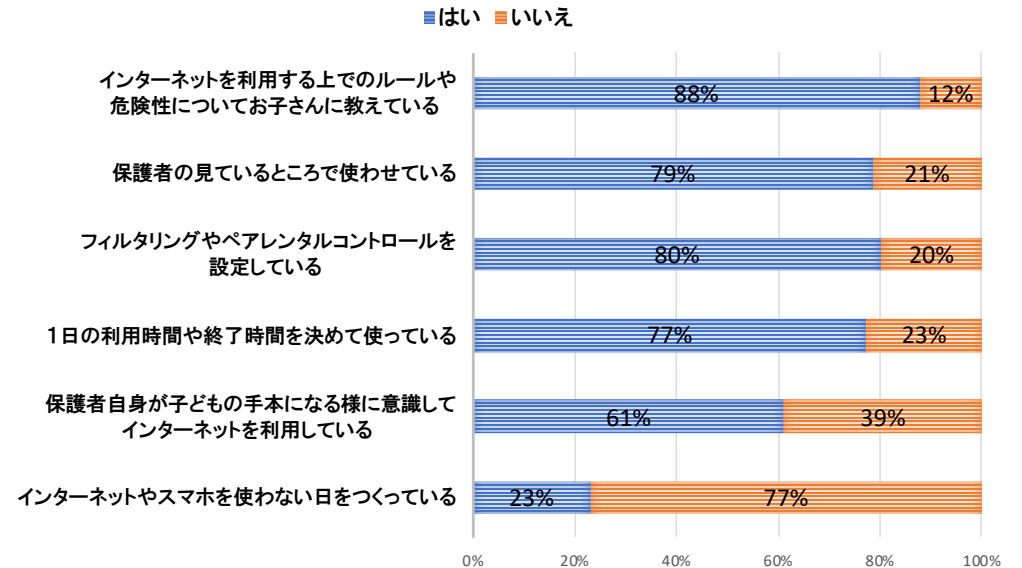
子ども専用のパソコン、タブレット、スマートフォンの所有は各学年数名ですがスマートフォンの所有は6年生になると10名以上と一気に増えました。

Q3. 家庭での子どものインターネット利用の詳細



大多数のお子さんがオンラインゲームや、検索サイトの利用、YouTubeやInstagramでの動画や写真の閲覧のみ、家族や友人・知人との連絡ツールとしての利用という回答結果でした。

Q4. インターネット利用に際しての取り組みや対応



保護者の目の届く場所での使用や、使用時間の設定、ペアレンタルコントロールなどによる物理的制限と同時にネット上でのトラブルや危険性について親子できちんと話し合い、理解させることが重要だと、多くの保護者の方が考えているという結果が出ました。

Q5. 家庭でのルールや効果のあった取り組み

自由記述にてご記入いただいた内容を一部抜粋してご紹介いたします。

時間の設定

- ・1日1時間まで、夜9時までなど使用時間を決めている。
- ・キッチンタイマーを使って音が鳴ったら終了。ずるずると見続けるのを防止するのに効果的。
- ・アプリなどを使って、時間が過ぎると自動的にロックがかかるようにしている。
- ・Wi-Fiにつなぐ時間を規制している。

保護者の管理

- ・リビングなど親の目が届く場所で使用。子ども部屋には持ち込ませない。
- ・すべてテレビに写して見るようにしている。
- ・使用は親に申告し、許可を得てから。使い終わったら報告するように言っている。
- ・パスワードをかけて、子どもが自由に使えないようにしている。
- ・親の携帯とタブレットを連動させ、検索や閲覧履歴を把握している。
- ・親はログを監視できることを、最初に子どもに伝えている。

優先順位・自主管理・使用目的の限定

- ・宿題や手伝い、明日の支度など、やるべきことをしてからにしている。
- ・家庭内での時間割を子ども自身で作り、インターネットの時間を削減できた。
- ・自主学习に活用できる内容や、興味のある物事を調べる為だけに使用。
- ・必ず調べるもののページを開いてから渡している。もしくは一緒に閲覧する。

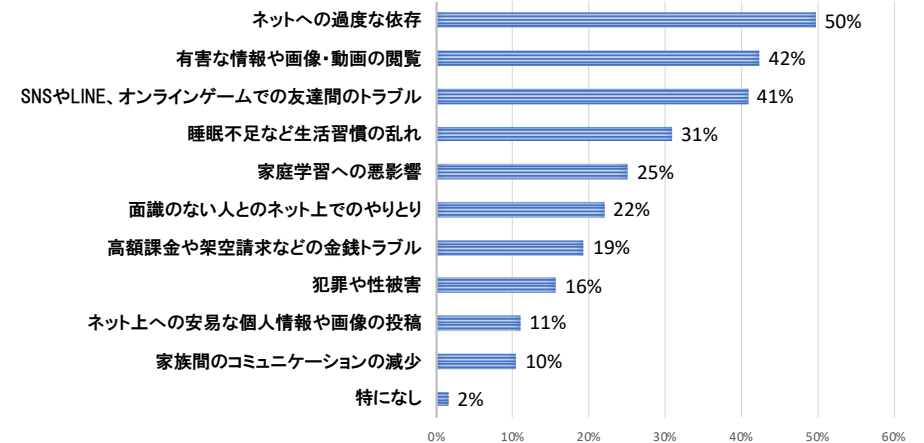
啓蒙・指導・話し合い

- ・前もって親子でルールを話し合って決めている。
- ・事件など何か起こる前に相談できる環境を整えるようにしている。
- ・わからないことは自分で判断しないで、必ず親に相談するように言っている。
- ・LINEやSNSは人間関係のトラブルに巻き込まれるなど、危険が伴うことを教えている。
- ・SNSやネット使用による事件の顛末や、犯罪・被害について話をしている。
- ・SNS上でのトラブルの事例などについて話し合い、適度な経験の為に規制し過ぎない。

その他

- ・ゲームでの課金や有料アプリの購入など、料金が発生することはしないように伝えている。
- ・個人のを持たせたら、共有していた時よりも利用時間が減った。順番を待たずに好きな時にいつでも見られるから、との理由。

Q6. インターネット利用に関する懸念



Q7. 実際に困ったことやトラブルなど

- タブレット利用時間増による家族とのコミュニケーションの減少
- 最初は調べ物で使っていても、簡単に別のサイトにつながってしまい閲覧していた
- 宿題よりもネットを優先、すべきことを先にしてからと言ったら適当にすましてしまう
- ゲームをしながらヒートアップし、普段なら使わない汚い言葉を耳にする
- 親に内緒でゲーム上での課金やアイテムの購入、友達への贈与、そのことによるトラブル
- オンラインゲームでチャットをしながらの暴言、誹謗・中傷、仲間外れ

などに関するコメントが複数ありました。

フィルタリングなどの便利な機能を活用しつつ、子どもたち自身がインターネットの利便性と同時に危険性についても認識し、「見ることができるけれど見ない、できるけれどしない」という自主管理の精神を育てることが大切です。

子どもたちがインターネットを上手に活用しながら、様々なトラブルから自分自身を守ることができるようになることを目指して、ご家庭でも話し合いやルールの見直しを定期的に行うなど、今後も継続的なサポートをよろしく願いいたします。